

< 中心市街地活性化基本計画について >

①子育て応援型の市営住宅「(仮称)中心市街地市営住宅」について

今年の3月25日、旭川市中心市街地活性化基本計画が国の認定を受けた。

今後、旭川市では買い物公園の機能集積と賑わいの再生、さらに、全市的な部分でコンパクトシティの実現を目指して、この基本計画に沿って様々な事業展開がなされることになる。

その一つで若年層のまちなか居住を促進するための事業として、宮下通13、14丁目に子育て応援型の市営住宅「(仮称)中心市街地市営住宅」を建設予定とのことである。

道内各地において、同様の子育て支援型住宅の建設が進められているところであり、先日、道庁の担当者に話を伺ったところ、「北海道では、高齢化だけではなく、少子化についても全国平均を上回るスピードで進んでいるところであり、早急な少子化対策が求められていることから、住まいづくりにおいても安心して子供を産み育てられる良質な住宅ストックの形成が必要」との考え方をお示し頂いた。

市において建設予定の「中心市街地市営住宅」の基本的コンセプト及びその建設概要はどのようになっているか。

(都市建築部長)

宮下通13、14丁目に建設予定の「中心市街地市営住宅」については、子育てを応援する市営住宅を基本理念として位置づけ、ハードとソフトの両面から子育てに適した住環境の創出を目指して整備を進める考えである。また、この市営住宅の供給によって、中心市街地に若い世代が移り住み、新たな活動や交流が生み出されることから、中心市街地の活性化に一層の効果が期待できると考えている。

供給戸数としては1号棟から3号棟の全体で150戸を予定し、このうち76戸を子育て世帯向け、25戸を身体障害者及び高齢者向けの専用枠として供給し、49戸を一般世帯向けに供給する予定。

1号棟は、本年度に工事着手し、平成25年度の完成、入居開始を予定。2号棟は、平成24年度の工事着手を予定し、3号棟及び子育て支援施設については、1、2号棟の進捗状況を勘案しながら、平成25年度以降、実施設計を行う予定で考えている。

オホーツクの紋別市に子育て支援型の道営住宅を見に行ってきた。

団地内に集会所が併設され、子育てサークルなど地域の子育て世代の交流の拠点として使用されていた。ハード自体は道営なので当然北海道が用意し、集会所の具体的な使い方を紋別市が中心となって協議会を立ち上げて検討し、その運営を社会福祉協議会に委託しているというものであった。

立地場所も中心市街地ということで、すぐ隣の保健センター、社会福祉協議会と一体となって子育て支援の拠点施設として機能していた。

地域における子育て支援施設の整備も、子供を産むことへの抵抗感・不安感の解

消を図るという部分では非常に重要な少子化対策の一つではないかと考える。

今回の「中心市街地市営住宅」は、当市における子育て支援型住宅のモデルケースとなるものである。限られた財源の中でせつかく市税を投じて建設するのであれば、単に子育て世代に対する住宅ストックの確保という観点だけにとどまらず、今後の旭川市の少子化対策に一石を投じるよう、地域における子育て支援施設の整備といった側面からも、その内容について十分に検討を行う必要があると考えるが、市の見解を伺う。

また、今後の整備手法についても、今回はその一つとして道営住宅の整備に合わせた機能整備の方法を紹介したが、市の見解を併せて伺う。

（子育て支援部長）

子育てに関する専門的な相談などに速やかに対応するためには、保護者にとってできるだけ身近な場所でこうした場を整えていくことが必要であると考えている。

現在、旭川市次世代育成支援行動計画後期計画に基づき、保育所や幼稚園を活用して全市的に地域子育て支援センターの整備に務めているが、財政状況等を踏まえると、単独で施設を整備することに限界もあり、公営住宅の整備など他の施策との連携により整備を図っていくことも一つの手法であり、今後、提供する事業の内容等について、全市的なバランスを見ながら検討をする必要があるものと考えている。

② 駅南神楽地区の中心市街としての今後の展望について

駅南の神楽地区については、中心軸への送客装置となるまちを目指すとのことであり、循環バスの運行など交通体系の見直しが主な事業として上げられているが、中心市街地の一部としての神楽地区の活性化という部分ではその内容が非常に薄いと感じている。

平成22年の都市再生整備計画の更新の際にも、もともと旭川駅周辺地区と駅南地区との二本立てで作成されていた計画が、旭川都心地区として一本化され、駅南地区については、非常に中身の少ないものとなってしまったという印象が強くある。

今後、まさに駅の南口として重要な役割を担うことになる駅南神楽地区の中心市街地としての展望についてどのように考えているか。

（総合政策部地域振興担当部長）

中心市街活性化基本計画において、駅南地区は、人々が集い、交流するコンベンション基地として、地区自体の魅力と集客力を一層高めることはもとより、買物公園との連携や交流を活性化し、計画区域全体とも有機的に連携しながら、様々な相乗効果を発揮する地区と位置づけている。

先日開催された神楽地域マルシェなど様々なイベントや地域のお祭り、大規模なコンベンションの開催や誘致を積極的に推進していく一方で、この地区が駅と至近の距離となる地域特性を活かし、まちなか居住を促進するなど、駅南地区自体の賑わいや集客力を高め、中心市街地循環バスや都市型レンタサイクルの実施などを通じ、他地区との連携、交流を一層促進していきたいと考えている。

また、駅南地区には、大雪クリスタルホールや三浦綾子記念文学館などがあり、文化性が豊かであることから、この地区を南の起点とし、忠別川のガーデン、彫刻がある新駅舎、買物公園、文化・芸術ゾーンの形成が進められる常磐公園地区などの文化資源をネットワーク化し、連携を図るなど、各地区相互の相乗効果を発揮しながら本市中心市街地の活性化を実現していく上で、欠くことのできない重要な役割を担う地区であると認識している。

自分の母校神楽中学校が、平成9年に現在の場所に移転して、もう14年が経とうしている。

旧校舎の跡地は、今回開通した氷点橋と国道237号線のぶつかる角地にあり、今回の基本計画においても中心市街地の区域内に位置づけられている場所である。しかしながら、当該跡地は現在も更地のままとされており、冬期間は雪捨て場として利用されているような状況にある。

当時、当該跡地の利活用について、ワークショップをはじめ地域住民の意見を聞く場がいくつか設けられているが、その地域住民の意見は、その後の中学校跡地の利活用ためにどのように用いられたのか。

また、その地域住民の意見を踏まえた上で、今後、当該跡地をどのように利活用していく予定か。

(総合政策部地域振興担当部長)

神楽中学校跡地利用については、市民参加によるワークショップを平成14年、15年に15回開催するなどして、当地区に求められる公共的な機能を学習、子育て、行政サービス等として整理をした。

その後、北海道森林管理局旭川分局の廃止が確定し、本市として旧分庁舎が遊休施設となることは大きな課題になること、さらに、新築よりも旧分庁舎利活用を行うことが経済的、合理的であるとの判断に基づき、再度、旧森林管理局庁舎の利活用に係る検討会議を設置するなどして、平成16年度に旧分庁舎を利活用し機能を展開する方針を決定した。

その後、文化交流施設の集積による都心核の機能強化と賑わいの創出という観点から、支所、公民館、図書館、児童センターの主に4つの機能で構成する神楽市民交流センターを核とした駅南地区全体におよぶ都市再生整備計画を策定し、平成19年度に同センターを開設した。

この都市再生整備計画では、神楽中学校跡地については、主に地域イベントや臨時駐車場にも活用できる多目的スペースとして整備するとされており、これまで一定の利活用を進めてきたが、今回、当該跡地が新たに中心市街地活性化基本計画エリアに含まれたことを踏まえ、一部地域については、民間による賑わい創出等に資する土地利用を進めることが駅南地区全体の活性化に寄与するものと考えている。

(総務部長)

当該跡地のうち、約1万平方メートルについては、多目的広場として既に整備さ

れているが、残りの約6千700平方メートルについては、今後売却を予定している。この土地の売却については、平成21年度に地区の市民委員会に説明し、理解を頂いたものであるが、売却にあたっては、中心市街地活性化基本計画のエリア内であることを踏まえて、これにふさわしい用途として利用されるよう一定の条件を付けるなど売却方法の検討をしていきたい。

平成14年～15年に15回もの議論が行われた中で、当該跡地については、支所をつくるという前提での議論ではなかったと認識をしている。結局、市の方では支所ありきで考えていたために、途中で別な支所の移転先が見つかったので、結果として、当該跡地については放ったらかしになってしまったという印象を強く受ける。

当該跡地は新たに開通するクリスタル橋を含め2本の橋の完成により、文字どおり中心市街地の一角を担う場所になる。今後の旭川市のまちづくりを左右するといっても過言ではないほどの土地の売却であるということを十分念頭に置いてほしい。

入札にあたっては、公共性を重視し、入札参加者に神楽地区の「人々が集い交流するコンベンション基地」としての役割を十分に理解してもらった上で、例えば、先にどのようなものをつくる予定かを聞いて、審査にかけてから入札参加資格を付与するなど、慎重な絞り込みを行って頂きたい。